



これまでも これからも 私たちの川だから



～みんなで取り組んできた河川清掃活動を持続していくために～

佐賀市内の河川清掃は、自分達のまちの川や水路は自分達できれいにしようという思いを持って、各自治会を中心に約40年、それぞれの地域特性に応じたやり方で清掃活動に取り組んできた歴史があります。

しかし、近年は、河川清掃に参加者が集まらない、高齢化して清掃が行き届かないなどの声のいろいろな地区から上がるようになりました。

そこで、佐賀市水対策市民会議と佐賀市では、いろいろな立場の方に河川清掃に参加してもらえるよう「地区ごとに取り組み方が違う」という佐賀市の河川清掃の特徴をふまえ、他の地区の参考になると思われる取り組み事例を収集・発信していくこととしました。

今回は、自治会と企業・学校との連携をテーマに、駅西自治会とHOTELグランデはがくれ、新郷自治会と佐賀東高等学校の皆様との取り組みについて、その経緯や活動内容をお聞きました。

この情報が皆様の活動の一助になれば幸いです。

企画・発行

佐賀市水対策市民会議・佐賀市
(建設部河川砂防課)

TEL: 0952-40-7182

FAX: 0952-26-7388

メール: kasen@city.saga.lg.jp

このチラシは、佐賀市のホームページでもご覧
いただくことができます。

水対策市民会議

検索

※市民参加型の地域情報サイト「つながるさがし」と
「河川清掃」で検索すると地域から発信された河川清掃
の取り組みを見ることができます。



HOTEL グランデはがくれ 提供



佐賀東高等学校 提供





駅西自治会 × HOTEL グランデはがくれ

地区の特徴

- 佐賀駅西側にある古い町で、現在は企業の本社や支社も多く、マンションも建ち並んでいる。
- 水路は少ない地域である。
- 高齢化で、5～6年前からシルバー人材センターに河川清掃を依頼している。

事業所の特徴

- 公立学校共済組合の宿泊所である。
- 職員・パート・アルバイトは100人程である。
- 毎年、春と秋にホテル周辺の河川清掃を実施している。第2水曜日には、地域のごみを拾う「クリーンアクト」も行っている。

協力のきっかけ

point ▶ 地域へ貢献したい

緒方支配人

当ホテルは、学校や社会へ貢献し、皆さんに愛され親しまれ、信頼されるコミュニティホテルを目指しています。そこで、地域に貢献しようと、前副支配人が河川清掃を始めたようです。

ホテルの河川清掃の方法

point ▶ 平日の早朝に実施

緒方支配人

営業に影響が少ない平日の早朝を選んで行っています。清掃予定日の約1カ月前に呼びかけ、毎回、10人程が集まります。

point ▶ 清掃道具は市から借用

緒方支配人

清掃時間は1時間で、胴長などの必要な道具は、市から提供してもらいます。水路から上げたごみは、コンテナ20箱くらいになります。



駅西自治会
平井会長



HOTEL グランデはがくれ
緒方支配人

自治会とホテルとの連携

point ▶ 自治会からコミュニケーションを取る

平井会長

事前にホテルへ連絡し、河川清掃日を聞いています。当日はできる限り出向いて、職員の方に声をかけて、コミュニケーションを取るように心がけています。

point ▶ 清掃をきっかけに避難所の協定へ

平井会長

河川清掃活動を通じて信頼関係が深まり、日頃から相談に乗ってもらっています。その延長で、ホテルの支配人から提案を受け、グランデはがくれさんを緊急避難場所とする協定を結びました。



緒方支配人

駅西自治会さんは、営業をしていく上で、大切なご近所さんです。ホテルのレストラン等も利用させていただいています。今後も積極的に交流を続けていきたいです。



平井会長

グランデはがくれさんには、良いパートナーになっていただいていると感謝しています。他の自治会も、地元企業との協力関係が構築できればいいと思います。



(令和4年8月24日 聞き取り)

新郷自治会 × 佐賀東高等学校

地区の特徴

- ✓ 住宅地であるが、農業用水のクリークが多く残っている。
- ✓ 約420世帯で、65歳以上が400人程と高齢化が進んでいる。
- ✓ 河川清掃は5月と10月に実施。平成16年の春から佐賀東高校の協力を得ている。

高校の特徴

- ✓ 生徒数は約560人で、ボランティア活動は生徒会役員を中心に行っている。
- ✓ 令和4年3月に生徒会で「SDGs宣言」を行った。
- ✓ 生徒間に「河川清掃は当たり前の行事」の意識が根付いている。

協力のきっかけ

point ▶ 自治会から高校へ協力を依頼

田中会長

地区のクリークには、粘土質の泥土が堆積しています。高齢化で住民だけの河川掃除の継続は難しいと考え、地域にある佐賀東高校に協力をお願いしたようです。

自治会から高校への依頼方法

point ▶ 清掃日の1カ月前後に依頼

森教諭

清掃日の1カ月前程前に、生徒会宛での正式な要請文書を受け取っています。生徒への意識付けもあるので、早めに日程を教えてください。

point ▶ 高校の行事等と重なったら清掃日を変更

田中会長

高校の行事等の日程と清掃日が重なったら、清掃日を変更します。地区には回覧板で清掃日を告知しています。



高校の河川清掃の方法

point ▶ 部活動ごとの呼びかけ

森教諭

各クラス担任、部活動の顧問に文書で協力をお願いし、参加生徒を募っています。特に部活動ごとに呼びかけるとよく集まり、毎回、60～80人の生徒が参加しています。

point ▶ 生徒の配置は自治会で決定

田中会長

2～3日前に生徒の参加人数の連絡があります。自治会で配置を決めて、男子生徒にはクリーク内での作業、女子生徒には一輪車でごみの運搬をしてもらっています。



新郷自治会
田中会長



佐賀東高等学校 生徒会部主任
森教諭

自治会と学校との連携

point ▶ 高校生の力でまちを元気に！

森教諭

昨年、生徒会で行った「SDGs宣言」の目標の1つが「高校生の力でまちを元気に！」です。地域の方々とまちを元気にしたいという生徒の気持ちから、協力を続ける原動力になっています。



河川清掃活動など町の行事に積極的に参加し、地域の方々とともにまちを元気にしていきます。

point ▶ 幅広い年齢層との交流

森教諭

地区の行事に参加して幅広い年齢層の方と交流することは、生徒の成長につながります。また、ボランティア活動は、推薦入試の時のアピールポイントにもなります。

佐賀東高等学校 空手道部 3年生 塚原さん

部活動のみんで参加しました。水草などを一輪車で運ぶのは重くて難しかったです。でも、川が綺麗になっていくのが、見ていて気持ちよかったです。



佐賀東高等学校 空手道部 2年生 松本さん

部活動で参加しましたが、もともと友達と参加しようと話をしていました。楽しかったので、またやってみたいです。

